

悲劇を生まないために



毎日のように報道される交通事故。痛ましい悲劇は後を絶ちません。交通事故は、誰の身にも起こる可能性があります。加害者にも被害者にもならないために私たちは何をすべきなのか。一緒に考えていきましょう。

町内で発生した交通死亡事故の概要

発生日時・場所	概要
令和元年 5月 8日 8時 20分ごろ 国道 56号 (上高柳)	自転車(86歳女性)が大型トラック(65歳男性)にひかれたもの。自転車に乗っていた女性が死亡。
平成 30年 11月 17日 8時 56分ごろ JR 予讃線下台踏切 (神崎)	原動機付自転車(92歳女性)が踏切内に進入し、普通列車と衝突した。原動機付自転車を運転していた女性が死亡。
平成 30年 8月 17日 23時 25分ごろ 県道 22号線 (筒井)	歩行者(61歳男性)が道路を横断中、軽乗用車(25歳女性)と衝突した。歩行者の男性が死亡。

※平成 30年 1月から令和元年 5月 20日まで (伊予警察署資料)

松前町で交通死亡事故発生

5月8日、上高柳の出合大橋で、自転車に乗っていた86歳の女性が大型トラックにひかれて死亡する事故が発生しました。これは国道56号を松山市方面へ向かっている途中、何らかの原因で自転車が車道に倒れ、走行中のトラックにひかれたものです。この事故で、今年に入り県内の交通事故による死亡者は13人に。このうち11人が65歳以上の高齢者でした。

増える高齢者の事故

愛媛県警察本部が作成した「交通事故発生状況」によると、県内全体の交通事故発生件数は年々減少傾向にあります。しかしその一方で高齢者の事故率が増えており、松前町の高齢者人口1万人当たり事故率は県下ワースト3位、さらに高齢免許人口1万人当たり事故率が県下ワースト1位となっています(3月末現在。3ページの表を参照)。

65歳以上の高齢者人口を総人口で割った高齢化率は、県下18位の松前町。そんな中で事故率がワースト上位に入ることからも、町内における高齢者の事故がいかに多いかがうかがえます。

運転免許の返納を考える

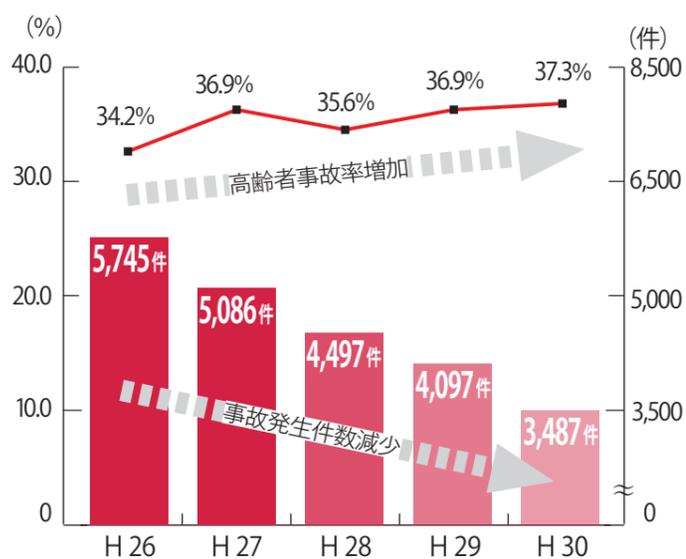
人は、加齢とともに運動能力や判断力が低下します。交通事故の被害に遭わないためには、それを自分で認識することが大切です。高齢者に起こりがちな交通事故の原因は、アクセルとブレーキを踏み間違えるというものの。伊予警察署交通課長の近藤さんは、運転免許の返納について、「年齢で一概に言えるものではないかもしれませんが、例えば『75歳になったら返納する』など、家族で一度話し合っておくことが大切です」と話します。

自主返納支援事業を開始

「高齢の家族が運転するのは心配なので、やめてほしい」「最近運転に自信がなくなってきたけれど、運転免許を返納すると移動手段がなくなってしまう」という人はいませんか。町では、今年4月から、運転免許自主返納支援事業を始めました。

この事業は、65歳以上の人を対象に公共交通機関の利用を補助し、自主返納しやすい環境を整えるものです。次のページから、本事業について紹介します。

県内の交通事故発生件数と高齢者事故率



高齢者事故率=高齢者の事故件数(65歳以上)÷全事故件数
出典:愛媛県警本部「交通事故発生状況～平成30年12月末～」

高齢者人口1万人当たり高齢者事故率

平成31年3月末現在市町別ワースト順位

順位	市町	高齢者事故数	高齢者事故率
1	西条市	32件	9.3%
2	今治市	50件	9.1%
3	松前町	8件	8.7%

出典:愛媛県警察本部「交通事故発生状況～平成31年3月末～」

高齢者免許人口1万人当たり高齢ドライバー事故率

平成31年3月末現在市町別ワースト順位

順位	市町	高齢ドライバー事故数	高齢ドライバー事故率
1	松前町	7件	13.4%
2	西条市	28件	13.0%
3	新居浜市	30件	12.8%

出典:愛媛県警察本部「交通事故発生状況～平成31年3月末～」

松前町で発生する交通事故の特徴



伊予警察署 交通課長
近藤 章 さん

愛媛県は、他県に比べて公共交通機関が発達していない分、自動車などを運転する人が多い傾向にあります。中でも松前町は、エミフル MASAKI という大型商業施設があり県内外から多数の人と車が往来するため、国道 56 号

Interview

沿いでの交通事故発生件数が多いと言えます。

高齢ドライバーの事故率が増えていますが、もちろん高齢者だけが悪いわけではありません。町民の皆さんには、道をよく知らない町外からのドライバーもいるということを意識して、交通ルールをしっかり守った運転を心掛けてほしいです。

check!

運転適正相談窓口があります

加齢に伴う身体機能の低下で、自動車などの安全な運転に不安のある高齢ドライバーやその家族からの相談を受け付ける窓口があります。

「若いときのような運転ができなくなった」「家族に『危ないから運転はもうやめて』と言われた」「移動手段が

ないので返納したくてもできない」など、不安のある人は一度相談してみましょう。

- ▶ 県内の相談窓口
運転免許センター
運転免許課適正検査係 ☎ 934-0110
- ▶ 受け付け時間
8時30分～17時（土・日・祝日、年末年始を除く）

◆申請方法

① 運転免許証を自主返納する

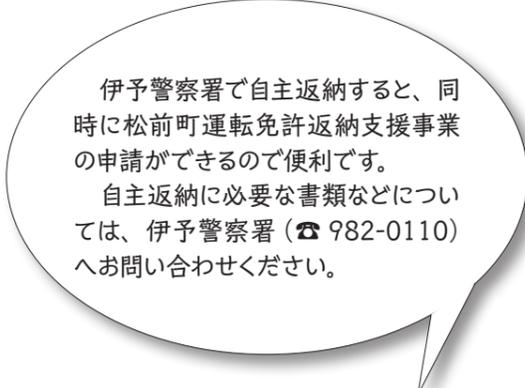
▶ 受け付け時間

【伊予警察署】

8時30分～16時30分（土・日・祝日、年末年始を除く）

【運転免許センター】

9時30分～11時、14時～16時（土・日・祝日、年末年始を除く）、10時～11時（日曜日）



② 乗車券などの交付申請をする

1 返納と同時に申請する人

▶ 申請場所 伊予警察署

▶ 必要なもの

運転免許証自主返納者乗車券等交付申請書（申請書は警察署窓口にあります。）

町民課コミュニティ係
久保 美文



※ 代理申請には委任状が必要です。詳しくは町民課コミュニティ係までお問い合わせください。

2 返納後、後日申請する人

▶ 申請場所 町民課コミュニティ係

▶ 必要なもの

・ 運転免許証自主返納者乗車券等交付申請書（申請書は町民課窓口にあります。）

・ 認め印（朱肉を使うもの）

・ 次のア～エのいずれかの写し

ア 申請による運転免許の取消通知書（発行手数料無料）

イ 取り消し後の運転免許証（※穴が開け

られ、裏面に公安委員会が自主返納を証明しているものに限り。）

ウ 運転経歴証明書（発行手数料1,100円）
エ 運転免許経歴証明書（発行手数料630円）

※ウ、エの発行については、伊予警察署へお問い合わせください。

※ア、エで申請する場合は、別途本人確認書類が必要です。

③ 町の審査後、1カ月程度で乗車券などを郵送します

運転に不安を感じている65歳以上の皆さんへ

運転免許の自主返納を支援します

町民課コミュニティ係 ☎ 985-4228

◆対象者

町内在住で、65歳になった後に運転免許を自主返納（全部取り消し）した人

※ 松前町重度障がい者（児）タクシー利用助成事業対象者は対象外です。

※ 既に運転免許を自主返納している人も対象ですが、返納時に65歳以上であることが条件です。

※ 運転免許証の有効期限が切れているなど、失効している人は対象外です。



◆支援内容

いずれか一つの公共交通機関の乗車券などを交付します（※交付は1人1回限り）。

公共交通機関	交通利用券	交付額または枚数など
伊予鉄グループ	ICい〜カード	1万円 （※カード購入時に必要な預かり金（デポジット代）500円を含む）
協力タクシー事業者	タクシー券	初乗り基本料金相当分のタクシー券 20枚 （※有効期間は発行日から5年間）
JR 四国	JR 四国旅行券	1万円

私たちが自主返納しました

Interview



窪田道男さん =恵久美=

ちょうど免許更新の時期で、85歳という年齢を考えると更新しても3年経てば動も鈍るし、とっさの反応ができなくなって危ないと思い返納しました。

これまで毎日車を運転していたので不便さはあります。しかし、若いときと違って頭で考えてから行動するまでに時間が掛かるのも事実です。

返納してからは自転車で移動しています。土日は町内に住んでいる娘たちが車を出してくれるので助かっています。



安村良子さん =中川原=

原動機付自転車を運転していましたが、歳を取るとバランスを崩したときにとっさに踏ん張れず、トラックなどが横を通ると風圧でひやっとすることが多々ありました。

万が一転んだら、歩行者や車の運転手など周りの人に迷惑を掛けてしまうかもしれません。今回、ちょうど免許更新のタイミングだったこともあり、返納することにしました。私はICい〜カードをもらいましたが、近くの買い物などは運動だと思って歩いています。

春の全国交通安全運動を実施

5月11日から20日までの10日間、「歩行者を 守る気づかい 思いやり」のスローガンの下、「春の全国交通安全運動」が行われました。

運動期間中、町内でも各地区の交通安全指導員が中心となり登下校中の子どもたちの安全を見守る街頭指導を行ったほか、各所で伊予交通安全協会による交通安全教室などを開催。5月10日に松前幼稚園で行われた同教室では、伊予交通安全協会の職員指導の下、園児たちが「ぼくは、必ず止まります。右見て、左見て、右見て、よし！」と声を出して確認しながら、横断歩道を渡る際のルールを学んでいました。

5月14日には、徳丸集会所で町民課主催の交通安全ワークショップを開催。伊予警察署の交通課長から講義を受けた後、参加者の皆さんは、交通マナーや高齢者の免許返納について意見交換をしたりおしゃれな反射材作りに挑戦したりしながら、交通安全について意識を高めていました。



6 塩屋交差点での街頭指導。信号をよく見て渡りましょう 7 横断歩道は手を上げて渡るよ 8 伊予交通安全協会の人から交通ルールを学ぶ園児たち

自転車の交通安全ポイント



自転車は免許がなくても運転できますが、法律上の軽車両です。交通ルールをしっかり守りましょう。

- ▶ 乗車中にはヘルメットを 自分の命を守るためにも、ヘルメットを着用しましょう。
- ▶ 原則車道を通行 自転車は、車道を通ることが原則です。例外で歩道を通る場合でも、歩行者が頻繁に通るときは押して歩きましょう。
- ▶ 携帯電話やスマートフォンの操作はしない 乗車中に携帯電話などを操作するのは危険です。また、周囲の音に気付けないのでイヤホンで音楽を聞くのもやめましょう。

Interview



交通安全指導員 岡田支部長 藤波武男さん =塩屋=

歩行者用信号のない交差点で車両用信号を見ずに横断歩道を渡ったり、自転車で後方を全く見ずに右に曲がったり、危険な運転を目にします。一歩間違えば大きな事故になりかねないので気を付けてほしいですね。

自動車の交通安全ポイント



- ▶ 一時停止をしっかりと 道路横断中の死亡事故が増加しています。信号機のない交差点や横断歩道では、思いやりの精神で、しっかり停止しましょう。
- ▶ 早めのライト点灯 夕暮れ時は早めにライトを点けましょう。自動車のライトは上向きが原則です。対向車両があるときは下向きにするなど、小まめに切り替えましょう。
- ▶ シートベルトとチャイルドシートの着用 後部座席でも、シートベルトやチャイルドシートを着用しないと事故時に車外に投げ出されるなど大きな被害につながります。必ず着用しましょう。
- ▶ 携帯電話やスマートフォンの操作はしない 運転しながらの操作は危険です。絶対にやめましょう。

Interview



池田正寿さん =徳丸=

運転するとき は、若いときと比べて車間距離を2倍とるようにしています。「まだまだやれる」と過信せず、歳を取ったことを自覚しなければなりません。普段運転していると、赤信号でも突っ込んだり、曲がるときに大きくふくらんだりして危ないドライバーが多いのが気になります。運転マナーに法的な規制は難しいかもしれませんが、一人一人がルールとマナーを守って温かい社会にしたいですね。

Interview



松前幼稚園 (左から) 奥田冬芽くん =宗意原= 濱田唯月ちゃん =北黒田=

(冬芽くん) 教えてもらった通りに、横断歩道を渡る時は車が来ていないかちゃんと見ます。(唯月ちゃん) 信号をよく見て、青になってから手を上げて渡ります。

歩行者の交通安全ポイント



- ▶ 道路を渡るときは必ず横断歩道を渡る 横断歩道のない国道などを渡るのは大変危険です。ちょっと遠くても、必ず横断歩道や歩道橋を利用して安全に横断しましょう。
- ▶ 夜間は反射材を身に付ける 夜間に出歩くときは、明るい服装で反射材を身に付けましょう。自動車などに存在を気付いてもらうだけでなく、自分自身も交通安全への意識付けができます。

Point + 1

高齢者は歩く速度が自分で思っているよりも遅く、時間がかかるため、青信号で横断歩道を渡り始めたのに途中で赤に変わってしまい、事故に遭ってしまうケースもあります。余裕を持って渡るようにしましょう。



皆さんは、「交通ルールを守っている」と自信を持って言うことができますか。「自分だけは大丈夫」という過信が大きな事故を招くことに繋がります。誰でも交通事故に遭う可能性があることを意識して、ルールの遵守はもちろん、思いやりのある交通マナーを実践しましょう。

特集 悲劇を生まないために 終わり



1 伊予警察署交通課長の近藤さんから講義を受ける 2 「こんなときに危ないよね」みんなで交通安全について考える 3・4 おしゃれな反射材。折り紙タイプや絵を描くタイプなどさまざま 5 みんなで反射材作り

